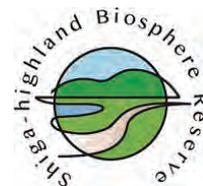


志賀 SHIGA KOGEN 高原



SDGs STUDY TOUR

志賀高原はユネスコ認定の
自然と人間社会の共存を目指す
ユネスコエコパークです



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標 (SDGs)とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。

(引用元: 国際連合広報センター)



志賀高原×SDGs STUDY TOURでは、以下の項目を学習できます

 <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>1 9</p>	 <p>すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>1 11 14 15 16</p>	 <p>すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>6 12 17</p>
 <p>手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>6 10 17C 18</p>	 <p>すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>7</p>	 <p>都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>4 5 7 10 11 18C</p>
 <p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>7 8 10 14 15 16 17C</p>	 <p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>2 3</p>	 <p>海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>6</p>
 <p>森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 9 12 14 15 16</p>		 <p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p> <p>この目標について学習できるSTUDY TOUR</p> <p>13</p>

■お問い合わせ

株式会社JTB 長野支店 志賀高原 STUDY TOUR 事務局

〒380-0823 長野市南千歳1-12-7

TEL 026-227-2162 FAX 026-227-9755

担当者 吉川・駒澤 E-mail h_yoshikawa908@jtb.com

志賀高原の最新情報満載! お出かけ前にご覧ください。

<http://www.shigakogen.gr.jp/>

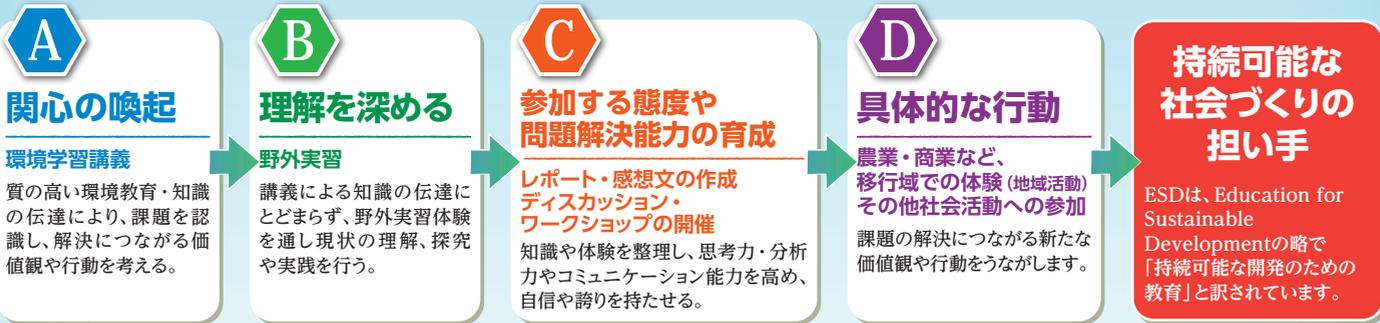
志賀高原は365日、SDGs



志賀高原 SDGs STUDYTOUR

志賀高原×SDGs STUDY TOURのねらい

志賀高原では、生徒の皆様が STUDY TOUR で得た知識や経験を通して、将来、環境・経済・社会活動において、自分に何ができるかを考え実行することができる「持続可能な社会づくりの担い手」の育成につながることを期待しています。



ユネスコエコパーク=BR (Biosphere Reserves) とは

ユネスコエコパークをご存知ですか？

生物多様性の保全、持続可能な開発、学術研究支援を目的として、1976年にユネスコが開始。ユネスコの自然科学セクターで実施されるMAB (Man and Biosphere) ユネスコ人間と生物圏計画における一事業として実施しています。

「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」に基づく世界遺産が、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパーク (BR) は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和 (自然と人間社会の共生) を目的としています。**「保全機能」**、**「経済と社会の発展」**、**「学術的研究支援」**の3つの機能を持つ地域が登録されます。

志賀高原ユネスコエコパークは、年間約200万人を超える人々が訪れる、日本有数の観光レクリエーション地です。1960年代以降にスキー場を中心とした急速な開発が進められてきました。しかし核心地域はほとんど人為の影響が無く、原生的な森林が大面积で保全されており、緩衝地域にも、地域の人々の努力によって幽玄な亜高山性針葉樹林に美しい湖沼や高層湿原が保全されています。

ここ志賀高原ユネスコエコパークは、これら豊かな自然を活用したエコツーリズムと、環境学習を実施しています。



ユネスコエコパークは3つの地域から構成されています

■ 核心地域 (コアゾーン)

自然環境の世界全体の財産として厳格な保護を目的とした地域です。この地域では自然環境のモニタリングや、科学的なデータの収集などに利用されます。国内の法律により保護されます。(志賀高原ユネスコエコパークでは国立公園の特別保護地区と同一の範囲であり自然公園法などにより保護されています)

■ 緩衝地域 (バッファゾーン)

保護と活用の両立を目指す地域です。この地域では核心地域を保護する役割と、自然環境に負担がかからない範囲での活用ができます。生物多様性に配慮した森林経営や、教育・観光などに利用されます。(調査研究活動、森林復元、ESDなどの環境教育、エコツーナーなどの観光・レジャーでの利用)

■ 移行地域 (トランジションゾーン)

地域住民の生活の場、地域発展のための様々な社会・経済活動の場です。自然と共存した経済活動を通じて、新たな環境対策、伝統文化の保護継承、コミュニティの振興などを行います。

SDGsを学べる様々なプログラムをご用意いたしました!

1 志賀高原ユネスコエコパーク 環境学習プログラム

Point 学校のスケジュールに合わせて組み合わせができます。



環境学習講義

宿泊施設内 時間 45分

講師：志賀高原ガイド組合（公益社団法人日本山岳ガイド協会公認）ガイドによる講義 午前9時45分終了

- 志賀高原ユネスコエコパーク・MABIについて
- 地球環境から身近な環境までの問題を考える
- 野外実習の予習授業 等

宿泊施設で公益社団法人日本山岳ガイド協会公認の志賀高原ガイド組合ガイドによる約1時間の講義で、自然と人との共生についての関心と理解を深めます。

環境学習野外実習 トレッキング

時間 240分

※雨天であっても危険のない場合は実施します。

講義終了後、志賀高原ガイド組合ガイドと共に、緩衝地域や核心地域内のトレッキングコースを歩きます。

時間やレベルに応じた様々なコースで自然体験が可能です。志賀高原ユネスコエコパークでは環境保全にどのような問題がありどの様に対処しているのかを、トレッキングをしながらガイドから学びます。

昼食/自然の中でお弁当
午後/3時00分頃 宿泊施設到着



トレッキング約240分コース

緩衝地域（バッファゾーン）を、ガイドと共に歩きながら人間と自然の共生を学習。昼食・休憩を取りながらの約4時間のコースです。

(イメージ)

ディスカッション・ワークショップの開催

時間 約60分



(イメージ)

環境学習講義・野外実習終了後、生徒の皆さんが自発的に発言をおこなえる環境を提供し、この学習で得た知識・感心したことなどをともに話し合い、生徒のみさんが感じたこと、他の友達が感じたことへの共感や新しい考え方の発見など、思考力を高めます。

レポート・感想文の作成

宿泊施設内

1日の環境学習を終え、自身のレポート・感想文を作成して、講義と野外での実習をまとめ理解を高めます。

- 志賀高原ユネスコエコパーク・MABIについて理解し発見したこと
- 自然環境と自分の関係性
- 自分に何ができるかという具体的な行動
- 持続可能な開発に関する価値観 等

修了証・ピンバッジの授与

宿泊施設内

環境学習講座、野外学習、レポート感想文の提出の後、修了者に授与されます。



学校・団体代表向け修了書



生徒向け修了書



修了記念ピンバッジ

2 天空のナイトゴンドラ & 星空レクチャー

東館山ゴンドラリフトに乗車して標高2,000mの天空の世界へ。山頂では星ソムリエの講師による星空レクチャーを行います。



人数 50~250名 時間 120分 時期 6月~10月



3 国指定天然記念物 石の湯のゲンジボタル

蓮池の自然保護センター内で資料の見学、講師による講義。その後、石の湯にて見学。



人数 20名~ 時間 120分 時期 7月~8月



4 国立公園保全プログラム ①遊歩道整備

国立公園になぜ登山・遊歩道があるのか、整備はなぜ行わなければならないのか。ユネスコエコパークとして取り組んでいる内容も伝えながら体験いただけます。



人数 20~40名
時間 120~240分 時期 6月~10月



5 国立公園保全プログラム ②高山植物保護

志賀高原に自生する貴重な高山植物を、志賀高原に来る沢山の人に楽しんでいただけるよう、外来生物の駆除活動を実施します。



人数 20~40名
時間 120~240分 時期 6月~10月



6 第一次産業から持続可能性を学ぶ ①林業体験

山ノ内町内で間伐作業を実際に行います。その作業を通し、なぜ間伐が必要なのか？ その間伐した木材はどうするか？ 山の保水力についてを学びます。



人数 4~20名 時間 120分 時期 6月~10月



7 第一次産業から持続可能性を学ぶ ②農業体験

観光農園ではなく、本当の農業体験を実施したいというプログラムです。



人数 4~150名
時間 半日120分、1日240分 時期 5月、7月、9月



8 少ない資源で美味しく作る エコ飯合

大切な資源をいかに少なく燃やし美味しく炊ける事を学習。根曲がり竹の箸作り、お皿を葉っぱにして食べるカレー、牛乳パックで炊いたご飯など、エコ飯合も勉強になります。



人数 20~200名 時間 120~180分 時期 5月下旬~10月



9 標高1,400mでの SUP体験

志賀高原の山々からなる琵琶池にてSUP(スタンドアップパドルボード)を行い、水の大切や怖さ(水難訓練)を体験します。



人数 20~25名 時間 120分 時期 6月~10月



10 標高差を利用した 水力発電!

こういった形で取水し麓の発電設備に流すのを見学しながら、クリーンエネルギーを学ぶとともに水利権や固定資産税といった難しい問題が内包されていることについても考えましょう。



人数 20~40名 時間 120分 時期 5月上旬~12月上旬



11 山岳救助隊体験

志賀高原山岳救助隊員は地元のメンバーが任命されております。日々訓練しており、山岳経験を一部体験していただく学習です。



人数 10~20名 時間 180~240分 時期 6月~10月



12 毛バリ作りと 原種のいわな釣り体験

貴重な天然いわな釣り。自分で作った毛バリでいわなが釣れた感動は忘れません。



人数 5~8名 時間 240分 時期 4月中旬~9月下旬



13 SDGsをゲームで学ぼう ニゼロサンゼロ エステイジーズ 2030 SDGsカードゲーム

カードゲーム「2030 SDGs」はSDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。さまざまな価値観や違う目標を持つ人がいる世界で、私たちはどうやってSDGsの壮大なビジョンを実現していくのでしょうか。



人数 10名~ 時間 120分 時期 通年



14 根曲がり竹を使った カンジキ作り

志賀高原の食の恵“根曲がり竹”。遊歩道の伐採した竹を活用して実施するのがカンジキ作り体験です。



人数 1~20名 時間 120分 時期 1月~3月



15 根曲がり竹を使った 染物体験

志賀高原の食の恵“根曲がり竹”。普段捨ててしまう竹の子の皮を染料とした、染物体験プログラム。



人数 20~40名 時間 120分 時期 6月~10月



16 伝統文化を学ぶ 和紙工作体験

滞在中のホテルにて、講師を招いて体験します。和紙のつくり方、歴史、文化についてのレクチャー(20分)に続いて制作します。



人数 約200名 時間 90分 時期 通年



17 大切な資源“水”について考える

17A 丸池水道組合

人数 20~40名
時間 120~180分
時期 通年



17B 水の循環利用

人数 20~40名
時間 120分
時期 通年



17C 上下水道 高天ヶ原地区

人数 10~20名
時間 120~240分
時期 5月下旬~10月



18 温泉が生む熱エネルギーについて考える

18A 丸池温泉組合

人数 1~20名
時間 90分
時期 5月~11月



18B 高天ヶ原温泉

人数 10~30名
時間 60分
時期 通年



18C 温泉熱の活用!

人数 20~40名
時間 120分
時期 通年



太古の原生林が残る
自然の中での環境学習を通し、
「自然と人間社会の共存」を学び、
持続可能な社会づくりの担い手を
育成することを目指します。

温暖化や自然破壊など、地球環境の悪化が世界中で深刻化し、環境問題への対応が人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題となっています。我々が受け継いできた豊かな自然環境を守り、未来へと引き継いでいくためには、次世代を担う子どもたちへの環境学習が重要となります。

志賀高原×SDGs STUDY TOURは、志賀高原の貴重な自然資源の中における体験を通じ、学校教育では補いきれない知識を身につけ、理解を深める学習の機会を提供しています。自然環境の保全・共生についての知識をはじめ、思考力、分析力などを高める質の高い学習（持続可能な開発のための教育＝ESD）を目指しています。

